e-Education

特例認定NPO法人 e-Education

〒101-0031
東京都千代田区東神田1-2-8 赤塚ビル2階
E-Mail : info@eedu.jp
HP : http://eedu.jp
Blog : http://eedu.jp/blog

e-Education
eedu_jp
@eedu_jp
e-Education

e-Education

年次報告書

2018

Mission

最高の授業を世界の果てまで届ける

e-Educationは、途上国の子どもたちへの教育支援を行うNGOです。
途上国には、満足な教育を受けることができず、夢を諦めてしまう子どもたちが大勢います。

私たちは、彼らの夢を応援するために、「最高の先生」の授業をDVDやタブレットにして届けています。

Vision

開発途上国における学習機会に恵まれない人々が、夢や想いを実現し、自分に誇りを持って生きていけるようになる世界

途上国の農村部では、学校がない、先生が足りない、良質な授業を受けられないといった課題があります。

映像授業を用いて、地理的、経済的な課題を乗り越えて、良質な教育を届けることで
私たちのビジョンを作ります。

代表挨拶

2018年は、私たちにとって大きな挑戦の1年でした。

代表である私がバングラデシュを拠点に活動し、各国の仲間たちとは遠隔でコミュニケーションを取りながら、一人一人が主体性を持って社会課題の解決に挑む、という大きな体制変換を進めました。

その結果、異なる国の成功の秘訣や失敗した理由がほぼリアルタイムで共有されるようになり、各国の取り組みが有機的に繋がることを感じた1年でした。

これは事業における変化にも繋がっています。2018年後半には、バングラデシュとミャンマー、そして日本の若者たちが共に学ぶLAMPという新しい挑戦が始まりました。

「国境を超えた優しくて強いチームが、複雑な未来を超えていく」

この信念を胸に、バングラデシュ、フィリピン、ネパール、ミャンマー、それぞれの国における活動を加速させ、JICAや民間企業との協働も積極的に進めながら、更に社会を変えるスピードを上げていきます。

最後に。日本を離れて2年経ちますが、いつも応援してくださる皆様の声の有り難みを日々感じています。これからも皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、仲間たちと一緒に挑戦し続けていきます。

e-Education 代表理事

三輪 開人

生徒一人一人の進捗に合わせた映像授業が実現！

農村部では、貧しさゆえに予備校に通えず満足な受験勉強ができない、厳しい状況下にいる生徒たちが今も多く存在するバングラデシュ 。そんな中、今年もe-Educationの授業を受けた生徒の８割を超える少年少女たちが大学進学を果たしました。もちろんバングラデシュ最難関のダッカ大学の合格者も出ました。こうした実績の背景には、今年２年目となった「インターン奨学金」制度の存在が欠かせません。e-Educationを卒業し新たに大学生となった先輩たちが後輩のサポートをするというもので、勉強面だけでなく受験生の精神面もサポートしました。また、皆さまからのご寄付により今年度より一人１台、タブレットを支給することができました。このタブレットの導入により、生徒一人一人が自分の理解速度に合わせて映像授業を視聴することが可能となり、より生徒のニーズにあった学習が提供できるようになりました。
生徒たちの夢の実現に向け、ただ映像授業を提供するに留まらず、インターン制度の定着やタブレットの導入と新たな試みを続ける私たちの活動は2019年度も止まることなく進みます。

チュータープログラムの支援をさらに加速！

中退してしまった生徒が再び通う学校、オープンハイスクール（以下OHSP）で支援を初めて6年が経ちました。ご支援いただく皆様のおかげで現地教育局をはじめ、現地の方からたくさんの応援をいただいています。OHSPでは従来の映像授業型に加え、現地の大学生がOHSPで生徒にオフラインで授業の補助を行う「チュータープログラム」を行なっています。チュータープログラムが開始して2年が経ちましたが、2018年度はプログラムを提供していなかった年に比べ進級率が10%上昇し、進級試験の点数も10点程度上昇しました。身近な地元の大学生が勉強をサポートしてくれることで生徒の勉強のモチベーションになり、生徒がより勉強に前向きな環境を作れるようになったことがこの成果に結びついたと考えています。モデル校で成果が出はじめているので、次年度に向けてはさらに支援の輪を広げるべく、他教科や提供する学校の拡大を目指しています。

バングラデシュ

開始時期	2010 年
累計生徒数	23,240 人
作成教材数	2,890 本

フィリピン

開始時期	2012 年
累計生徒数	1,714 人
作成教材数	158 本

ミャンマー最果ての地、公立校2校目の展開が決定！

ミャンマーでは国全体の平均合格率が30%しかないといわれる高校卒業試験合格に向けた支援を2013年に開始、これまで1,000人近くの子どもたちの支援を行ってきました。2017年度からは同国で最も貧しく、試験合格率もわずか数%の学校も多いチン州において、現地教育局と連携をスタート。公立校の先生たちと共に、手探り状態から一歩一歩「生徒の夢の実現」に向けて取り組んできました。「映像授業での学びを、生徒向けの練習問題制作に活かしたんだ。卒業試験を終えた生徒たちから『先生が教えてくれたことが、試験でも出たよ！』と言ってもらえて、生徒の力になれていると実感することが出来たよ」と笑顔で語ってくれた先生。生徒からも、「苦手を克服して、自信を持って試験に臨むことが出来ました」と力強いコメントが。この取り組みが教育局にも伝わり、2019年度には2校目の公立校展開が決まりました。更に多くの先生、生徒の力に。そしてチン州全体、そしてミャンマー全体にモデルが展開を実現するために。政府連携の更なる強化を目指し、次年度も取り組んでいきます。

モデル校における中学校卒業試験の合格率が15%から50%へ！この実践成果を全国へ！

JICAの草の根技術協力事業（支援型）の活動も2年目を迎え、2018年度は前年度に作成した「教師が活用しやすい映像教材」に加えて、学校の先生たちが映像教材を更に有効利用するための「映像教材活用ガイドライン」を作成しました。また、ガイドラインの普及に向けて、全国5つの自治体から、教育担当官と学校関係者を招聘してワークショップを開催。この映像教材・ガイドライン・ワークショップという3種類の教育サポートメニューが完成し、現地中央教育省からも高い評価をいただきました。
また、前年度から映像教材を積極的に活用いただいているブメ中学校では、前年度15%しか合格できかった全国統一中学卒業試験の合格率が50%（全国平均は30%）を超えるという快挙を達成しました。これは私たちのサポートだけでなく、現地の情熱ある先生たちの努力に他ならず、改めて先生の可能性、そして教育の可能性を強く感じました。この実践成果を全国へ普及するため、私たちは更に挑戦し続けます。

ミャンマー

開始時期	2013 年
累計生徒数	977 人
作成教材数	485 本

ネパール

開始時期	2015 年
累計生徒数	650 人
作成教材数	162 本

フィリピン
数学教材ビジネス

JICAのサポートを受け、日本の教科書会社と協働して教育を届ける！

フィリピンの数学力はアジア内で最下層に位置づけられており、産業界で活躍できる人材不足の原因になっています。数学力向上のために、2018年よりJICAの採択を受けて、数学の教科書を出版している新興出版社啓林館様と協働させていただいています。日本の数学ノウハウを現地カリキュラムに落とし込み、紙面教材と映像授業を制作します。2018年度は現地調査を行いましたが、2019年度は600本以上のコンテンツを作成予定です。

教育のその先へ。3ヵ国をまたぐ実践型教育プログラム、“LAMP”が始まりました！

プログラム誕生のきっかけは2017年。ミャンマー・バングラデシュ両国をまたぎ大きな国際問題に発展した、ロヒンギャ難民問題でした。長年活動してきた両国で見た世界。それはSNSで錯綜する情報に怒りを覚え、相手国を批判し合う姿でした。
「誤った情報に流されず、自らの目で課題を見極め、解決の担い手になる未来を」その想いを込め、LAMPは立ち上がりました。《Learn（学ぶ）・Act（行動する）・Make（作る）》をプログラムの軸とし、バングラデシュ、ミャンマー、日本各国から5名の若者が参加。日本プログラム開催時、参加者は難民活動家や大学教授から情報との向き合い方を学び（Learn）、防災・高齢化社会など、日本の起業家から出されたお題に挑み（Act）、チームで考えた解決策を発信する（Make）事を通じて、社会課題の本質と向き合ってきました。「知識、経験以上に社会を変える当事者や仲間との協働、アウトプットの先のゴールを自ら探求できるプログラム」と、ある参加者。今後も一人でも多くの若者が社会課題解決の担い手となる未来づくりに取り組んでいきます。

途上国×VR

絶景への誘い、ワンダーネパールを知る旅へ！

「もっと手軽に途上国に行けたら。」そんな事を思ったことはないでしょうか。2018年10月より「途上国×VR絶景への誘い～ワンダーネパールを知る旅へ～」と題してクラウドファンディングを行いました。150万円を超えるご支援を頂き、200名以上の方にe-Educationの活動地をVRという形でお届けしました。VRでネパールを体験頂いた方には『本当にその世界にいるようだった』『e-Educationがどういう場所で活動しているかよりわかった』との感想を頂きました。

LAMP

Total Count

これまでe-Educationが届けてきたもの

活動年数

9 年

作成した教材数

3,695 本

累計生徒数

26,581 人

国数

14 か国

Activities in Japan

2018年度にe-Educationが行ってきた国内の活動

講演会

15 回

イベント

34 回

メディア

2 本

Accounting Report

経常収益

受取寄付金	11,067,633円
受取助成金	15,073,962円
事業収益	62,456,772円
その他収益	379,746円
合計	88,978,113円

経常費用

事業費	人件費	26,286,518円
	その他経費	36,726,496円
管理費	人件費	6,978,848円
	その他経費	3,092,310円
合計		73,084,172円

税引前当期正味財産増減額	法人税、住民税及び事業税	当期正味財産増減額
15,893,941円	5,001,900円	10,892,041円
前期繰越正味財産額	次期繰越正味財産額	
△3,472,129円	7,419,912円	

How To Get Involved

SNSをフォローする

e-Educationの最新情報は、
Facebook、Twitter、Instagram、Youtube
などでもチェックできます。

イベントに参加する

e-Educationはみんなで作っていく団体です。
活動説明会、キャリア説明会、年次活動報告会、
アニバーサリーイベントなど、
様々なイベントを開催しています。

ボランティアに参加する

e-Educationでは、
チャリティイベントの企画運営、動画編集、
資料の仕分け／封入、チラシのデザインなど、
ボランティアとしてサポートいただける方を
幅広く募集しています。

寄付する

毎月1,000円のご寄付があれば、
6人に「最高の授業」を届けることができます。
教育機会に恵まれず、夢を諦めざるを得ない子ど
もたちの夢を応援する仲間になってください。

e-Education　公式ホームページ（ご寄付申込ページ）　http://eedu.jp/donation/

決済方法：クレジットカード もしくは 口座振替（申込用紙）

e-Educationは特例認定NPO法人です。 皆さまからのご寄付は寄付控除の対象となります。

Our Supporters

臼田輝生さん

若者たちの情熱を応援します！

2011年の東日本大震災で実家と家族が被災したことをきっかけに、ソーシャルな活動に関わりたいと思うようになりました。友人の紹介で参加したイベントで、代表の三輪さんや優秀で情熱のあるインターン生の方々と出会い、e-Educationを大好きになりました。何度もイベントに足を運ぶようになり、皆さんが本気で途上国の教育を変えようと奮闘する姿に胸を打たれ、サポーターとしての支援を決めました。彼らが途上国で得た経験を基に、日本の未来を背負って立つトップリーダーになることを確信しています！

萩谷功枝さん

支援の輪を広げ、平和な世の中をつくりたい

きっかけは、本屋で創業者、税所君の本を手に取ったこと。それまでは途上国支援に関心がありながら、行動はできていませんでした。でも、自分にできることをしたい！そう考えサポーターに申し込みました。私は特別お金持ちではないですが、孫や趣味にだけ没頭するのでなく、世の中を良くすることにちょっと費やしてみたい。そう思う方と一緒に、支援の輪を広げていきたいです。そして、教育の大切さ、平和であることのありがたさを感じながら生きていきたいです。

ご支援・ご協働いただいている法人・団体さま

UNIQLO
WOWRK
Class for Everyone
KJS
啓林館
CASIO
GLOWD INC.
NTT Communications Transform. Transcend.
MDI Miyama Development International
公益財団法人 日本国際協力財団
公益財団法人 トヨタ財団
ASIAcenter JAPANFOUNDATION 助成：国際交流基金アジアセンター アジア・市民交流助成

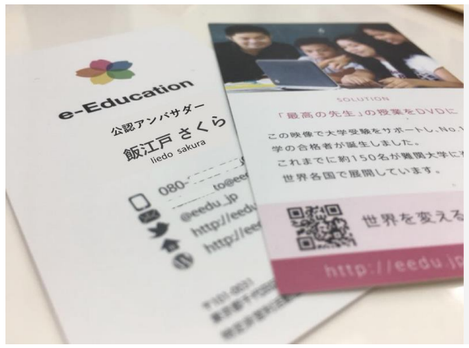
e-Educationは、大阪マラソンのオフィシャル寄付先団体です。

みんなでかける虹。 OSAKA MARATHON 2019

Our Ambassadors

Best Education to Every Corner of the World
e-Education Ambassador

e-Educationアンバサダーとは、
有志のマンスリーサポーターで構成されたチームです。
「寄付だけではなく、e-Educationの仲間として何かしたい」
という想いから、アンバサダーとしてもう一枚の名刺を持ち、
チャリティイベント、自身の会社での社内勉強会など企画・運営しています。
アクションから社会貢献の輪が広がることを目的とし、教育に限らず幅広い活動内容をしている**e-Educationのマンスリーサポーターのチーム**です。



もう1枚の名刺。

いつもの名刺交換に、
アンバサダーの名刺をプラスしてみませんか。
出会った人に、あなたのアンバサダー活動を
知ってもらうきっかけになります。

自ら主催して！

e-Education職員を講師として招聘するイベントをあなたの会社で開催してみませんか。会社外でのあなたの姿を知ってもらい、支援の輪が広まります。e-Educationのイベントを主催してみませんか。あなたの経験を生かしてチャリティイベントイベントなどを企画してe-Educationに新しい風を吹き込むことができます。

アンバサダーになるには？

アンバサダー制度はマンスリーサポーター限定のチームです。
マンスリーサポーターは、「公認アンバサダー」に登録することができます。既にマンスリーサポーターの方で
ご興味がある方は、こちらからお申込みください。
https://forms.gle/5cshKP7MocScJBte9